東京学芸大学リポジトリ
Tokyo Gakugei University Repository

2021年度 国語科実践報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-04-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 西村,諭, 宇佐見,尚子, 影山,諒, 杉本,紀子, 山根,正博 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00173821

国際中等教育研究　第15号 p.101 ～ 104
東京学芸大学附属国際中等教育学校研究紀要

2021 年度　国語科実践報告

Practical Report of Japanese Language Division for 2021

国語科　西村　諭
宇佐見尚子
影山　諒
杉本　紀子
山根　正博

要旨

国語科の 2021 年度の取り組みとして、表に示したように、学年ごとに概念を主軸とした単元設計に基づいて実践した。MYP においては Key Concept と Related Concept、Global Context またそれらに基づいた探究の問いを生徒と共有して授業を進めた。オンライン授業や他教科との連携を図った実践も行った。

１章　教科としての取り組み

１節　はじめに

新学習指導要領の公示を受け、本校では「国際バカロレア(以下、IB)の趣旨に基づくカリキュラム・マネジメント」の実践的研究を行っている。カリキュラム・マネジメントの中では、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、教育内容を組織的に配列することが求められている。今年度もこの趣旨を踏まえ、昨年度に引き続き「研究グループによる授業研究」を設け、研究主題である「『学びの転移』を促す概念・文脈の活用―国際バカロレア（IB）の教育システムを活かした授業実践―」をもとに「学習の転移」や「知の統合」を意識した授業を、他教科とも連携しながら検討し、実践した。その具体的な実践内容については、各研究グループの報告を参照されたい。

２節　2021 年度国語科実践記録（2022 年 1 月末現在）

国語科では毎年本紀要に当該年度の実践（1 学期までまたは 2 学期まで）を一覧として掲げてきた。本年も 1 月末までの実践単元一覧表を後掲（図１～３）する。本年は COVID-19 も限定的なものにとどまり、おおむね計画通りに授業を行うことができた。1 学年～4 学年までは MYP に基づくため、MYP において単元設計に必要とされている、Key concept（重要概念）、Global context、Statement of inquiry（探究テーマ）と使用教材を記載した。5 学年・6 学年においてもできるかぎり MYP の重要な要素を踏まえて単元設計を行っているが、表には記載していない。

図1　<1年～2年　実践単元一覧>

学年		科目	単元	Key concept（重要概念）	Global context	Statement of inquiry（探究テーマ）	使用した教材とその著者（教科書教材には下線）（副教材・参考資料として使用したものも含む）
MYP対象学年	1（中1）	国語	文章の読解と分析を通して、筆者のものの見方を探る。	ものの見方	空間的時間的位置づけ	構成や表現を工夫することで、自分の考えが相手に伝わりやすくなる。	大隅清治『クジラの飲み水』・上田一生『ペンギンの防寒着』
			自己表現（スピーチ- 構成、表現を工夫して魅力を伝える	コミュニケーション、創造性	個人的表現と文化的表現	受け手に伝わるようなスピーチ、朗読には経験や物語に対する明確な解釈と創造性が必要である。	「話す・聞く　スピーチ　構成を工夫して魅力を伝える」（教科書　三省堂「現代の国語」1 P108）
			表現の工夫に注目し作品の魅力を探る。	創造性	空間的時間的位置づけ	表現を工夫することで読者に想像の世界をより確かに伝えることができる。	今江祥智「竜」(教科書　三省堂「現代の国語」1)
			想像の世界を味わう面白さを知る。	システム	空間的時間的位置づけ	表現や構成でを理解することで虚構の世界を共有することができる。	「空中ブランコ乗りのキキ」(教科書　三省堂「現代の国語」1)
			漢字の成り立ちを知る	文化・創造性	空間的時間的位置づけ	漢字の背景にある先人の創造性を知ることで、文化のつながりを理解することができる。	「漢字の成り立ち」（教科書　三省堂「現代の国語」1）
			文化と生活はどうつながっているのかを探る。	論理・文化	個人的表現と文化的表現	論理的に説得力のある文章は読み手に新しい視点を提供する。	渡部武信「玄関扉」(教科書　三省堂『現代の国語』1)
			言葉の持つ力を知る。	創造性	個人的表現と文化的表現	すぐれた表現は読者の読みに影響を与えることを理解する。	「トロッコ」(教科書　三省堂『現代の国語』1)
			自己表現（スピーチ- 構成、表現を工夫して魅力を伝える）2回目	コミュニケーション、創造性	個人的表現と文化的表現	構成や表現の違いは聞き手の受け止め方に影響を与える。	書店の店長になって、お薦めの本を紹介しよう。
			日本語の源流を探る―故事成語	文脈	空間的および時間的位置づけ	古代の中国語は時空を超えて現代の日本語につながっている。	「故事成語―矛盾」
			古典に学ぶ―特徴を考えてリライトしよう	創造性	個人的表現と文化的表現	スタイルと表現の違いは新たな物語の創造を可能にする	『竹取物語』（角川ビギナーズクラシックス）
			百人一首の力	文化	個人的表現と文化的表現	形式を活用した言葉の遊びは私たちの想像力を発展させ、文化の担い手としての知識を形成する。	「小倉百人一首」（藤原定家）
	2（中2）	国語	言葉の力について考える	創造性・ものの見方	個人的表現と文化的表現	言葉は記録に意味や解釈を与える。	詩（新川和江・寺山修司）
			文脈と論理をとらえる	論理	個人的表現と文化的表現	説得力のある主張や意見は、適切な命題とそれを支える根拠によって成り立っている。	渡部潤一「人間は他の星に住むことができるのか」（説明）
			言葉の感覚を研ぎ澄ます―歌が持つリズムや形式の可能性と私たちが歌う意味を考えよう―	時間・空間・場所，文化，創造性	空間的時間的位置づけ 個人的表現と文化的表現	詩歌の持つ文化的・歴史的背景・特徴（特に韻律）や文脈は、空間や時間を経た受け手にも共有され、受け手の言葉遣いや表現にも影響する。	「短歌十首」（詩歌）
			物語の仕組みと仕掛けをとらえよう	システム	空間的時間的位置づけ	物語の時間や空間の設定は読者と語り手の関係に影響する。	内海隆一郎「小さな手袋」（小説）
			自己の言葉と他者の言葉を考える	文化、アイデンティティ	グローバル化と持続可能性	異文化を理解することは人間がその現象をどのようにとらえているのかという価値観を理解するということである。	方言
			見ぬ世の人と対話しよう	時間、場所、空間 アイデンティティ	空間的時間的位置づけ アイデンティティと関係性	時間・場所・空間は物語を作る独自の言葉を生み出し、その言葉で語られる見ぬ世の人との対話は私たちの人生観や価値観を広げることができる。	『枕草子』『徒然草』（古典）
			文法の役割を考える	システム	空間的時間的位置づけ	言語の構造（システム）は一定のルールによって働く。	文法(品詞・動詞の活用)
			表現するとはどういうことかを考える	創造性	個人的表現と文化的表現	二つの作品を比べることで、作者の表現の特徴や意図に迫ることができる。	太宰治「走れメロス」（小説）　シラー「人質」（詩）

図2　<3年～4年　実践単元一覧>

学年		科目	単元	Key concept（重要概念）	Global context	Statement of inquiry（探究テーマ）	使用した教材とその著者（教科書教材には下線）（副教材・参考資料として使用したものも含む）
MYP対象学年	3（中3）	国語	構成をつかむ	論理	公平性と発展	構成をつかむことが筆者の意図に迫る一つの方法である。	長谷川櫂「間の文化」（評論）、大石芳野「希望」（随筆）
			「メディア・リテラシー」について考える	創造性	個人的表現と文化的表現	情報の送り手として身につけるべきメディア・リテラシーを明らかにする。	菅谷明子「情報社会を生きるーメディア・リテラシー」（評論）
			古典の中の季節を感じる	つながり	空間的時間的位置づけ	古典の中に描かれている季節の感じ方や価値観を知り、現在の我々の季節感や価値観に迫る。	「和歌の世界一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」（古文）
			文学的文章を論理的に読む	ものの見方	個人的表現と文化的表現	文中の表現から心理描写を読み取り、主題を探る。	井上ひさし「握手」（小説）、三浦哲郎「とんかつ」、夏目漱石『坊っちゃん』、魯迅「故郷」
			俳句を詠む	ものの見方	個人的表現と文化的表現	日常の中で習慣的に俳句を詠むことを通じて、季節の移ろいや身の周りにある変化に気づく。	「俳句十五句」（俳句）
			日本語の仕組み	システム	公平性と発展	助詞と助動詞は書き手・話し手の意思が反映される。	文法(助詞・助動詞)
	4（高1）	国語総合（現代文分野）	リメイク	創造性	個人的表現と文化的表現	優れた作品は人間の創造性を刺激し、創造性を享受しながら、物語の意味や価値を変えていく	ディズニ「Silly Symphony The Grasshopper And The Ants」（アニメーション動画） 佐野洋子「ありときりぎりす」（小説） 芥川龍之介「羅生門」（小説）
			異文化コミュニケーション	コミュニケーション	アイデンティティと関係性	文化への理解は、コミュニケーションのあり方に影響を与える	山﨑正和「水の東西」（評論） 高階秀爾「『間』の感覚」（評論） 山本健吉「日本の庭について」
			見えないフォーマット	形式	個人的表現と文化的表現	物語の面白さは優れた形式に支えられ、個人的表現に広がりを与える	李白「静夜思」（漢詩） 夏目漱石「夢十夜」（小説） 星新一「プレゼント」（小説） 植田まさし「コボちゃん」（四コマ漫画）
			「かわいい」の戦略	グローバルな関わり	アイデンティティと関係性	「特異」は「普遍」に昇華する	四方田犬彦「『かわいい』現象」（評論） 稲垣涼子『カワイイエコノミー』（評論）
		国語総合（古典分野）	価値観の違いを捉える	時間、場所、空間	空間的時間的位置づけ	個人の価値観は、社会的文脈によって形成され、また社会的文脈を生み出す。	『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀」、『今昔物語集』「阿蘇の史、盗人にあひてのがること」
			故事成語の比喩を読み解く	文化	個人的表現と文化的表現	多種多様な故事が、成語や比喩表現となって、言語生活を豊かにしている。	『孟子』「五十歩百歩」等
			随筆から何を読み取るか	ものの見方	個人的表現と文化的表現	「古人」は一括りにできるものでなく、一人ひとり個性を持った書き手である。	『徒然草』「奥山に猫またといふもの」、『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」
			歌物語の構成	文化	グローバル化と持続可能性	和歌に着目し、物語の構成や特徴を捉えることができる。	『伊勢物語』「東下り」「筒井筒」「あづさ弓」『大和物語』「沖つ白波」
			思想から人物像を考える	ものの見方	空間的時間的位置づけ	平安時代の日記から当時の人の考え方や生き方を捉える。	『御堂関白日記』
			漢詩の多様性	創造性	個人的表現と文化的表現	何かを表現するためには内容だけでなく、形式や技法との関係が重要である。	漢詩　白居易「香炉峰下、新卜山居……」他

図３　＜5 年～6 年　実践単元一覧＞

学年		科目	単元	Key concept（重要概念）	Global context	Statement of inquiry（探究テーマ）	使用した教材とその著者（教科書教材には下線）（副教材・参考資料として使用したものも含む）
MYP対象外の学年	5（高2）	現代文B	母語と世界				長田弘「アイオワの玉葱」（評論） 野矢茂樹「日本語は非論理的か」（評論） 野矢茂樹『大人のための国語ゼミ』
			語りの技術				中島敦「山月記」（小説）
			文学の仕事				加藤周一「文学の仕事」（評論） 夏目漱石「こころ」（小説）
			センターの戦略				センター試験過去問題等
		古典B	構成に着目して説話を読み解く				『十訓抄』『今昔物語集』『宇治拾遺物語』
			時代背景と社会に対する見方の関わりについて考える				『方丈記』「ゆく川の流れ」「安元の大火」
			随筆から何を読み取るか				『徒然草』「世に語り伝ふること」「今日はそのことをなさんと思へど」
			歌物語の構成				『伊勢物語』「月やあらぬ」「関守」
			比喩を読み解く				「知音」「画竜点睛」「両頭蛇」「漱石枕流」「糟糠之妻」「塞翁馬」
			歴史を見つめる眼				『史記』「項羽と劉邦」「鴻門の会」「項王の最期」
	6（高3）	現代文B	自分という存在をどう確認するか				森鷗外「舞姫」 石垣りん「表札」
			人間は言語によって世界とどう関わるか				丸山圭三郎「ロゴスと言葉」 丸山圭三郎「ソシュールを読む」 大庭健「動物の信号と人間の言語」
			言葉の限界と可能性とは				熊野純彦「ことばへの問い」 木村敏「ものとこと」 藤田正勝「哲学のヒント」 野家啓一「「対話的相互性」の地平」
		古典B	日記文学はどのような時代背景のもと生まれたのか				『蜻蛉日記』『紫式部日記』『和泉式部日記』
			登場人物はどのような視点で語られているのか				『説苑』『新序』
			古典の作品はどのように関わりあっているのか				『増鏡』『源氏物語』
			能楽論における時代性と価値観				『風姿花伝』
			漢詩における風刺				杜甫「石壕吏」
		古典A（古文）	平安文化人たちの意識－和歌と漢詩の関わり				『和漢朗詠集』・歌論
			歴史の語り方 『大鏡』を中心として				『大鏡』
			入試問題を通して知る古典 『とりかへばや物語』				『とりかへばや物語』
			歌論と俳論－文芸論に見る価値観と世界観				『毎月抄』『去来抄』※教育実習生授業
			連句を詠む				参考資料：『猿蓑』
			災厄と日本人 日本人は災害をどのように語り遺してきたか				『方丈記』（五大災厄）・『平家物語』「大地震」・『かなめいし』・『16歳の語り部』・「国会事故調報告書（要約版）」
		古典A（漢文）	詩文の価値 漢詩（和歌への影響を含む）				古詩・唐詩
			伝説はどのように語られるか 『史記』を読む				『史記』「陶朱公范蠡」「伍子胥」「刎頸之交」「呂不韋：奇貨居くべし」「荊軻」
			無用の用から考える「古典不要論」				『荘子』『韓非子』
			儒家：孔子の弟子評価				『論語』
			礼か法か 諸子百家の思想と現代社会				『史記』『韓非子』
			三国志の世界				「水魚の交り」「出師の表」『三国志演義』
			名文が備える性質とは				「五柳先生伝」「与孟東野書」「師説」「夏目漱石書簡集」
		国語表現	対比を作る				ディスカッション・小論文
			展開に変化をつける				ディスカッション・小論文
			抽象的な説明と具体例				ディスカッション・小論文
			複数の文章の関係をつかむ				ディスカッション・小論文
			物語を作る				プレゼンテーション・ディスカッション・創作
			しゃべる技術（発表分析）				スピーチ動画分析・レポート
			ファシリテーショントレーニング				ファシリテーション実践・レポート グロービズ・吉田素文「ファシリテーションの教科書」

School Year 2021 Report on Japanese Language Division Practice

Abstract

As shown in the table, the Japanese Language Division conducted classes based on units designed focusing on a concept for each grade as an initiative for SY2021. In MYP, we carried out classes while sharing key concepts, related concepts, global contexts, and statements of inquiry based on them with students. In addition, we gave lessons online and practical classes aiming to link with other subjects.